

各教育事務所長様
各市区町村教育委員会教育長様
各小・中学校長様
関係各位

平成30年9月吉日

福島県白河市教育委員会教育長 芳賀祐司
福島県白河市立白河第二小学校長 芳賀佐久間 芳雄

平成30年度 福島県白河市教育委員会指定

第37回研究公開 <第2次案内>

研究 主題

「教科の本質に基づき、
児童の主体的学習態度を育てるためには、
授業をどのように改善したらよいか。」



研究 副主題

豊かにかかわり、表現し合う問題解決的な学習
<国語科・社会科・算数科・理科・特別支援教育>

平成30年11月12日(月)

福島県白河市立白河第二小学校

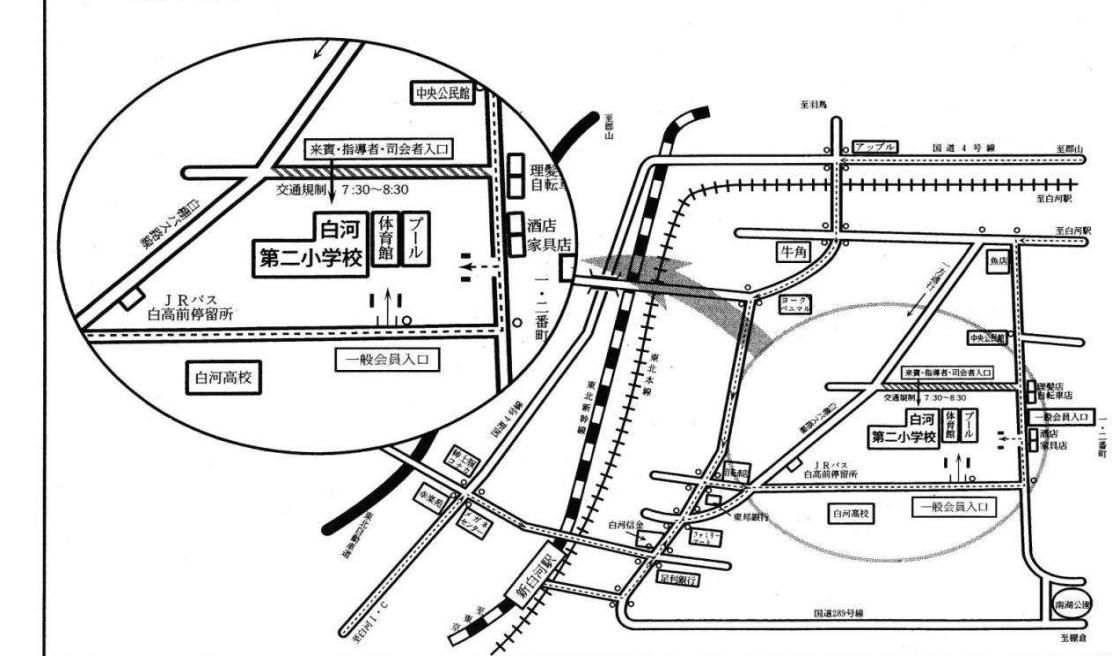
〒 961-0963 福島県白河市日影2番地8
TEL 0248 (23) 3242 FAX 0248 (22) 1902
URL <https://shirakawa.fcs.ed.jp/>
E-mail shirakawa2-e@fcs.ed.jp

<https://shirakawa.fcs.ed.jp/>

交通案内

- ◇ 東北新幹線 新白河駅下車（駅前よりタクシー5分・徒歩15分・JRバス白棚線 白河高校前下車徒歩5分）
- ◇ 東北本線 白河駅（駅前よりタクシー5分・徒歩15分）
- ◇ 入り口は校庭側になっております。自家用車又はタクシーでお越しの方は、校庭南側（白河高校側）又は、東側（一・二番町）よりお入り下さい。

案内略図



昼食・宿泊

- ◇ 昼食のお弁当を本校で斡旋販売致します。昼食（500円・飲み物付き）をご希望の方は、別紙「参加申し込み書」にご記入下さい。
- ◇ 宿泊については、新白河駅周辺にホテルがございますので、直接お申し込み下さい。

研究資料代

- ◇ 実費1,500円をいただきます。（研究紀要・要項代）

申し込み方法

- ◇ 参加ご希望の方は、本校HP「第37回研究公開参加申し込みフォーム」又は、FAXにて10月31日(水)までにお申し込み下さい。
- ◇ 資料準備・会場設定の都合上、参加部会名を明記して下さい。
- ◇ FAXでの申し込みは、別紙「申し込み用紙」に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。
- ◇ 「参加申し込み書」は本校HPからダウンロードできます。
白河市小中学校ポータルサイト <https://shirakawa.fcs.ed.jp/>

問い合わせ

福島県白河市立白河第二小学校

〒 961-0963 福島県白河市日影2番地8
TEL 0248 (23) 3242 FAX 0248 (22) 1902
URL <https://shirakawa.fcs.ed.jp/>
E-mail shirakawa2-e@fcs.ed.jp (研修主任 中畠まで)

白河第二小学校の
HPはコチラ

毎日の授業の中で「豊かにかかわり、表現し合う」ことを通して、子どもたちに「生きる力」を育む問題解決的な学習を目指しています。

授業 I

国語

1の3	くらべてよもう「じどう車くらべ」	遠藤貴士
2の1	せつめいのしかたに気をつけて読もう「しきせんの作り方」	小林奈緒美
4の2	段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう「アップとルーズで伝える」	塩田雄人
6の1	筆者の考えをとらえ、自分の考えと比べて書こう「自然に学ぶくらし」	湯田木綿子
5の3	わたしたちの生活と工業生産「工業生産を支える」	設樂夕貴
6の3	日本の歴史「長く続いた戦争と人々のくらし」	菅野聰
1の1	くらべかた	小幡綾香
2の4	はこの形	荒井委子
3の2	分数	武木望美
3の1	明かりをつけよう	古市裕子 鈴木雷樹
6の2	てこのはたらき	有賀理香
けやき1 (知的)	やさしいをそだてよう「おみせやさんごっこ」(生活単元)	佐々木美香
なかよし2 (情緒)	△形と四角形(算数・2年) 分数(算数・3年)	本田優子

授業 II

国語	1の2	こえにだしてよもう「くじらぐも」	勝倉来美
	2の3	じんぶつと自分をくらべて読もう「わたしはおねえさん」	古関善修
	4の1	読んで考えたことを話し合おう「ごんぎつね」	高木笑子
社会	3の3	はたらく人とわたしたちのくらし「店ではたらく人」	近藤寛徳
	1の4	ひきざん	太田恵子
	2の2	九九の表	山田未来
	4の3	面積	鉄あゆみ
	5の2	割合	吉田勇樹 中野和弘
理科	5の1	電流がうみ出す力	高橋律子
特別支援	けやき2 (知的)	分数(算数・3年)	増子友江
	なかよし1 (情緒)	ひきざん(算数・1年) 拡大図と縮図(算数・6年)	添田理衣

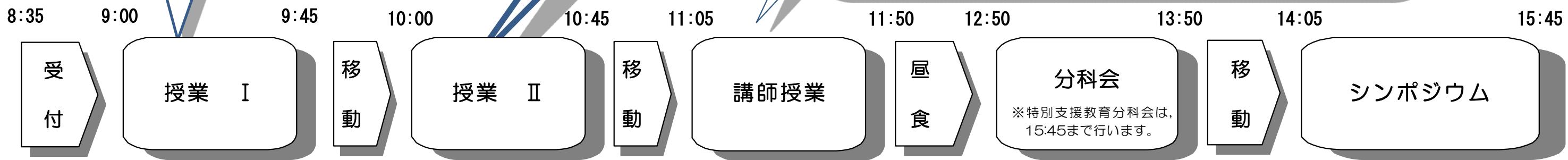
分科会

教科の本質に基づく授業や学び合いながら
考える力を育てる問題解決的な学習について
協議します。

(国語・社会・算数・理科・特別支援教育)

筑波大附属小の先生方のすぐれた授業が見られます。

＜国語＞白坂洋一先生 〈社会＞梅澤真一先生
＜算数＞大野桂先生 〈理科＞佐々木昭弘先生



テーマ 「豊かにかかわり、表現し合う問題解決的な学習」

＜シンポジスト＞筑波大学附属小学校教諭 白坂洋一先生・梅澤真一先生
大野桂先生・佐々木昭弘先生
＜コーディネーター＞本校校長 佐久間芳雄

筑波大附属小 白坂洋一

◎『子どもの理論』で創る国語授業

- 子どもの「学び」を問い合わせる
 - 「教師の論理」で授業は創られてこなかったか
 - 「引き入れる」から「引き出す」への発想転換
- 「子どもの論理」で創る国語授業—3つの条件
 - 子どもの学びの必然性のある「問い合わせ」、「願望」
 - 子どもの気づきや問い合わせの「連続・発展」
 - 子どもの学びの「自覚化」
- 子どもの思考の文脈づくりとしての教師の役割
 - 授業のストーリーづくりと対応力
 - 発問構成と問い合わせ

筑波大附属小 梅澤真一

◎社会への関わり方を選択・判断する社会科の授業づくり

- 社会にみられる課題を把握する
 - 社会的事象をよくみる
 - 社会的事象について理解する
 - 社会にみられる課題を発見する
- 課題解決に向けてどうすべきか判断する
 - 社会にみられる課題における価値の対立に気づく
 - 対立事項のメリットデメリットを明示する
 - どちらの価値を大切にすべきか判断する
- 判断したことを生活に生かす
 - 価値判断した内容をもとに意思決定する
 - 周りの他者と合意形成を図る
 - 生活に生かす態度を持つ

筑波大附属小 大野桂

◎子どもの素直に向き合って授業を創る

- 教師は子どもと本当に対話をしているのか
- 誤答に向き合う

筑波大附属小 佐々木昭弘

◎『深い学びを促す「問い合わせ」が変遷する授業』

- どうなる？(結果)を問う
 - 知識・理解(わかる)
- どうする？(方法)を問う
 - 実験観察の技能(できる)
- どうして？(理由)を問う
 - 科学的思考(考える)

4人のシンポジストが「豊かにかかわり、表現し合う問題解決的な学習」を語ります。

白河第二小学校 第37回研究公開 参加申込書

FAX 0248(22)1902

平成30年 月 日

学校名						TEL				
所在地	〒 -									
No.	職名	氏名	分科会					昼食希望	自家用車	備考
			国語	社会	算数	理科	特別支援			
例	教諭	白河太郎	○					○	(有)・無	
1									有・無	
2									有・無	
3									有・無	
4									有・無	
5									有・無	
6									有・無	
7									有・無	
8									有・無	
9									有・無	
10									有・無	

※ 希望の欄に○をつけて10月31日(水)までにお申し込み下さい。
(お問い合わせ)

白河市立白河第二小学校

〒961-0963 福島県白河市日影2番地8

TEL 0248(23)3242 FAX 0248(22)1902

研修主任 中畑純まで